

社員が一つになって取り組む

「健幸づくり経営の3つの原則」基礎講座

WORKSHEET 第五章



合言葉とは？

まず、取り組みを進めていく前に一つ決めていただきたいことがあります。

それは、健幸づくり経営の数値目標や目的とは違います。「**合言葉**」です。

社員全員が合言葉を声に出すことでワクワクする、楽しくなる、さあ、やろうか！

そんなイメージができる合言葉です。

「合言葉」の例

例えばですが、

佐賀県は、車社会中心のため歩かない県民が多く、その結果、糖尿病や糖尿病予備軍の割合が多いのではないかという課題がありました。

そこで、佐賀県は、歩数計機能付きスマートフォンアプリの導入、歩きやすい街づくりを重点施策として取り組んでいます。

そこで、考えられた合言葉が、「**歩こう。佐賀県。**」です。

この合言葉を聞いて、あなたはどう感じましたか？佐賀県民は、歩きましょう！というメッセージに感じたでしょうか？

おそらく、合言葉だけを聞いてもよく分からないと思いますが、目的や目標があることで、合言葉も理解しやすくなります。

そして、この合言葉には、別の目的もあるんです。

それは、、、

健幸づくりだけではない

「歩こう。佐賀県。」この合言葉の目的は、健康づくりだけではありません。

もう一つの目的として、経済の活性化です。

歩きやすい街づくり、例えば、歩道の整備や駅から観光スポットまでの道中を歩きたくなる仕掛けなどです。

車だと店から店の移動で途中の店に気づくこともありません。

そんな状況を「歩く」という健康づくりの行動で解決しようという取り組みです。

これは、佐賀県という自治体が健幸づくり経営に取り組んでいると考えてもいいでしょう。

目標や目的があり、そして、合言葉がある。

いかがでしょうか？実際に、この合言葉をもとに、健康づくりにかかわる人が集まる交流団体も生まれました。

それが、私が2020年1月25日に立ち上げた、

「歩きたくなる街づくりを目指して、人と人がつながる交流会」です。

佐賀県の目標や目的を共有し、「歩こう。佐賀県。」の合言葉のもとに集まり活動しています。

合言葉を考える

では、合言葉を考えてみましょう。

合言葉を考えるときに必要なのが、どんな目的で健幸づくり経営に取り組むのかです。

これは、今回の講座の原則3でお話ししています。目的は、企業の理念と結びつくものが良いです。

そして、目標を掲げることも必要です。

目的や目標が決まったら、社員全員が分かりやすい合言葉を考えて下さい。

合言葉は、経営者・担当者の方だけでなく社員一人一人が考えた合言葉から選ぶのもいいでしょう。

合言葉

スポーツチームの例

スポーツの世界をたとえに話してみましよう。

2019年ラグビーワールドカップ、日本は初めて決勝トーナメントに進出しました。

その時、盛んに耳にした言葉が「ワンチーム」です。日本代表は、過去のワールドカップで予選敗退する常連国でした。

そんな日本ラグビーの歴史を変えて、

「自分たちが愛するラグビーというスポーツを、もっともっと人々に愛されるスポーツにする」

これが、目的です。その目的のために、ワールドカップ決勝トーナメント進出という目標を掲げました。

日本代表は、外国人選手も多数いるチームが目的と目標の達成に向けて、日本代表を一つにした合言葉が、

「ONE TEAM（ワンチーム）」です。

いかがですか？このラグビー日本代表を参考に考えてみましょう。

第五章 人手をかけずに健幸づくり経営に取り組む仕組みづくり

健幸づくり経営の取り組みの仕組化のポイント

1. 社員が「健幸」について考え書き出す

- ・社員の健幸づくりの目的・目標を決める

2. 企業としての「健幸」について考え書き出す

- ・企業の健幸づくりの目的・目標を決める

3. 合言葉を考えて発表する

- ・毎日、1回は合言葉を声に出すようにする

4. 社員の健幸づくりに必要なことを会社として支える

例えば、健康診断を確実に全員が受診できるようにする。がん検診全額費用を負担する。運動する時間を設けるなど

5. 社員同士が健幸づくりの取り組みを助け合う

- ・健康に対する意識の差があると原則2でお話ししていますが、意識の低い社員を周りが一緒になって

取り組むことを「助け愛のこころ」と呼んでいます。